

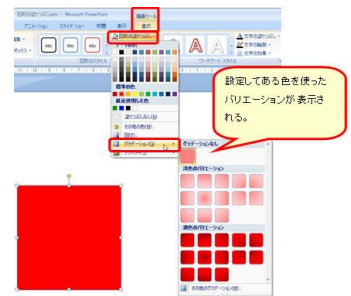
## 1色の濃淡でグラデーションするには

図形に赤の濃淡を使ったグラデーションを作成する場合。

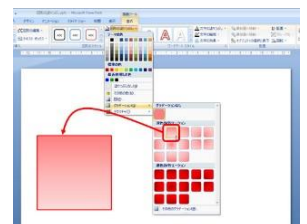
図形を選択し、「描画ツール／書式」→「図形のスタイル」→赤。再度、図形を選択してリボンの [描画ツール／書式] のタブの [図形の塗りつぶし] の▼をクリックして、[グラデーション] を選択。

グラデーションのバリエーションの一覧には図形に設定されている色をベースにしたバリエーションが表示されます。

右上図の場合は、あらかじめ図形に赤の塗りつぶしを設定してあるので赤をベースにしたバリエーションが表示されています。



この中からバリエーションをクリックして選択すると、図形にグラデーションが設定されます。

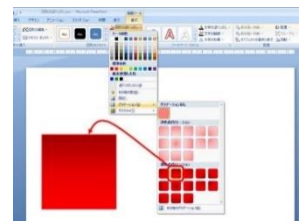


## 2色の組み合わせでグラデーションするには

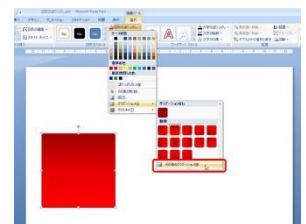
図形に赤と青の2色でグラデーションを作成する場合。

図形に2色のうちの1色を設定したら、図形を選択してリボンの [描画ツール／書式] タブの [図形の塗りつぶし] の▼をクリックして、[グラデーション] にマウス ポインタを合わせて、バリエーションの一覧でグラデーションの方向を選びます。

右図の場合は、赤のグラデーションで [下方向] というバリエーションを選んでいきます。

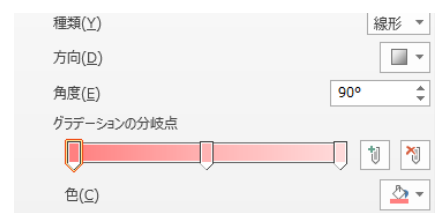
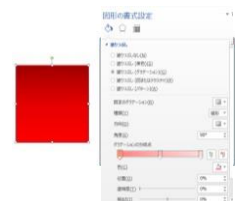


図形に1色のグラデーションを設定したら、再度、図形を選択してリボンの [描画ツール／書式] タブの [図形の塗りつぶし] の▼をクリックして、[その他のグラデーション] をクリックします。



[図形の書式設定] ダイアログ ボックスが表示され、現在の塗りつぶしのグラデーション設定の画面が表示されます。

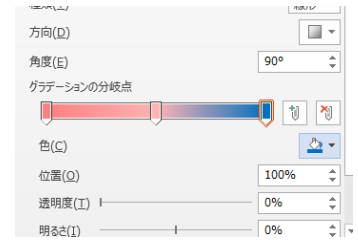
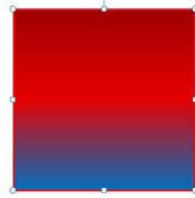
[グラデーションの分岐点]を確認すると、3つの分岐点(3つの色)でグラデーションが成り立っていることがわかります。



赤の 1 色のグラデーションは、実際には、濃度の違う 3 つの赤色を分岐点で切り替えることで設定されているのです。

赤と青の 2 色のグラデーションにするには、分岐点のいずれかの色を変更します。

たとえば、下図の場合は [分岐点 3](一番下の色) を青に変更しています。



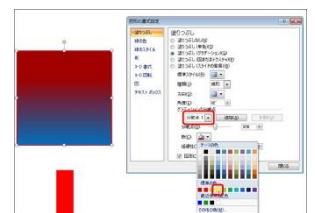
[分岐点 3]の色が、とても薄い赤から青に変更され、2 色のグラデーションに変更されます。

赤と青の間にある [分岐点 2]の色(少し薄い赤)が不要ならば、[分岐点 2]を選択して[削除]をクリックします。

3 つあった分岐点が 2 つになり、赤と青の 2 色のグラデーションに変更されます。

2 つの色のバランスを変更したい場合は、[分岐点]のスライダか右側のボックスでパーセンテージを変更します。

2 色の組み合わせを変更したい場合は、色を変更したい分岐点を選択して、[色]で色を選択します。

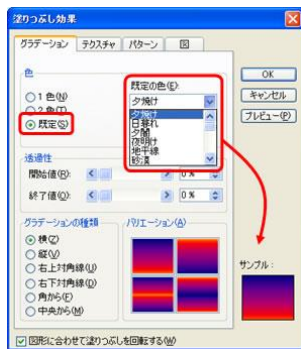


右図の場合、赤を黄色に変更したいので [分岐点 1]を選んで[色]で黄色を選択しています。



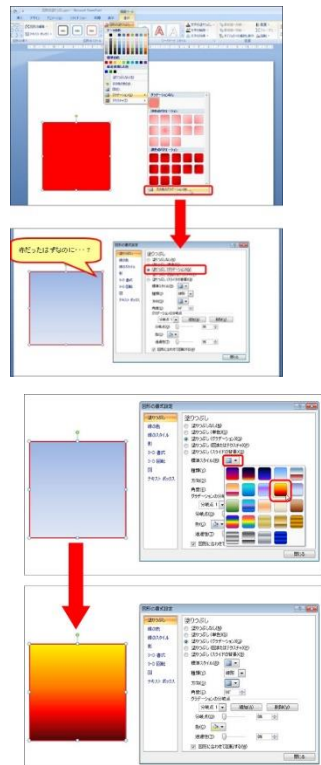
設定が終わったら[閉じる]をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。

用  
ル  
図  
組  
れ  
複  
イ



意されているグラデーションスタイル  
を使うには

形のグラデーションは、任意の色を  
み合わせる以外に、あらかじめ用意さ  
ている  
数の色が組み合わせになっているスタ  
ルを使うこともできます。Office 2003  
までにもあったこんな感じの組み合わせです。

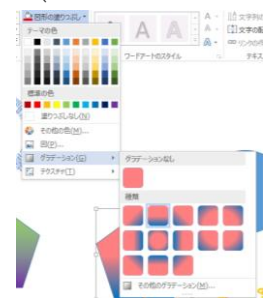


グラデーションを設定する図形を選択してリボンの [描画ツール] の [書式] タブの [図形の塗りつぶし] の ▼ をクリックして、 [グラデーション] にマウス ポインタを合わせて、 [その他のグラデーション] をクリックします。

または、図形を選択して、リボンの [描画ツール] の [書式] タブの [図形のスタイル] グループのダイアログ ボックス起動ツールをクリックしてもよいです。

[図形の書式設定] ダイアログ ボックスの [塗りつぶし] で [塗りつぶし (グラデーション)] を選択すると、図形に既定の色を使用したグラデーションが設定されます。

選択している図形にすでにグラデーションが設定されている場合は、そのグラデーションの内容が表示されます。

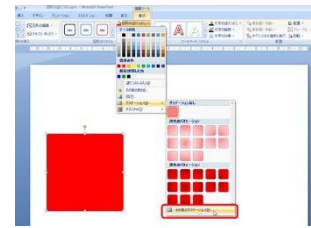


このとき設定される既定のグラデーションの色は、使用しているテーマの色によって異なります。

[標準スタイル] の ▼ をクリックし、スタイルの一覧で適用するスタイルをクリックして選択します。



グラデーションの状態は、[種類] と [方向] で変更できます。

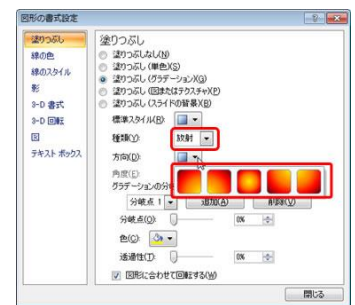
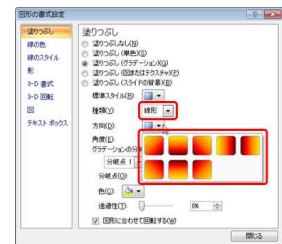


の

たとえば、[種類] で [線形] が選ばれている場合はこんな感じの方向が、

[種類] で [放射] が選ばれている場合はこんな感じの方向が表示されます。

分岐点の削除や位置の変更、色の変更は前の手順と同じです。



## まとめ

図形に単色やテクスチャなど、グラデーション以外の塗りつぶしが設定されていると、[図形の書式設定] で [塗りつぶし (グラデーション)] を選んだ瞬間に、既定の色のグラデーションや前回設定した色のグラデーションが図形に設定されてしまうのです。

これが、「なんか使いにくい」と思われる 1 つの理由ですね。

だったら、そもそも先に色を付けるのをやめちゃうか、もしくは、バリエーションまで選んでから、  
ダイアログ ボックスを表示すればよいのかな、と思います。

もう 1 つは「分岐点」。

慣れるまでは、グラデーションに使う色の数=分岐点の数、と考えればよいと思います。  
色を増やしたければ、分岐点を追加し、色を減らしたければ分岐点を削除すればよいです。

ただ、似たような色のグラデーションの場合は、どの色がどこまで影響しているのかがわかりにくいので、私は、グラデーションのバランスを設定したいときには、一部の色を一時的に目立つ色に変えて様子を見ています。

新しいグラデーションの設定は慣れるまでは少し使いにくいけれど、  
分岐点を使った編集ができることで、Office 2003 までは、

「1 色」「2 色」「既定」の

3 パターンからしか選べなかった色の組み合わせの自由度が  
上がり、色のバランスも

変更できるようになったので、基本的な動きを知って上手に  
使いたいですね。



